



エコアクション21  
®環境省

認証番号 0005535



[ 2025年7月 伊勢 ]

# エコアクション21 環境経営レポート 2025年度

対象期間：2024年10月～2025年9月

発行日：2025年12月

山興緑化有限公司

# 山興緑化有限会社 環境レポート目次

代表挨拶	3
① 組織の概要	4
1-1 廃棄物処理料金	
1-2 廃棄物処理実績	
1-3 許可施設等の状況	7
1-4 産業廃棄物収集運搬施設の保有状況	8
1-5 廃棄物の保管場所の状況（保管上限）	11
1-6 処理工程図	13
	13
② 対象範囲・組織図	14
*事業内容	
*レポートの対象期間及び発行日	
*実施体制	
③ 環境経営方針	16
④ 中長期環境目標の設定	17
⑤ 環境経営目標の実績	18
⑥ 環境活動計画及び環境経営目標と環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	19
⑦ 環境経営活動による各部署の数値の推移	22
⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	24
⑨ 沿革・認定・許可・表彰	25
⑩ 環境保全に関するその他の取組・教育	28
⑪ 代表者による全体の評価と見直しの結果	37





### ごあいさつ

弊社は 1977(昭和 52)年に、木材チップ生産工場から排出されるバーク(木皮)の堆肥化(バーク堆肥)を目的に設立しました。

従来、焼却か捨てるしかなかったバークを、県内でいち早く堆肥化に向けて取り組み、再生利用・再資源化・減量化、そして土壤改良材としてリサイクルに取り組んで参りました。

公共土木工事あるいは木材工場から排出される枝葉、根株、木皮、建築廃材等木くずの廃棄物をお引取りして堆肥化する為に、2000(平成12)年に島根県の廃棄物処分業を取得。廃棄物収集運搬業におきましては、島根県をはじめ、鳥取県・広島県・山口県でも取得し、近県からのご要望にも対応しております。また、処分業・収集運搬業共に各県で優良認定をいただいております。

未利用資源を有効活用するという国の大きな方針の中、大型木材破砕機・切削機を積極的に導入し、地域材を有効活用するバイオマス燃料供給にも力を入れております。

長年培って参りました堆肥製造技術をはじめ、総合的なノウハウと技術を結集し、循環型社会の構築の一助として当社の技術が貢献できれば幸いです。

山興緑化有限会社  
代表取締役 河村 健司



本社社屋及び小松地工場を望む



## ① 組織の概要

事業所名	山興緑化有限会社	
代表者	代表取締役	河村 健司
事業の規模	設立	1977年4月1日
	資本金	4,000万円
	社員数	37名 2025年9月30日現在
	売上高	790,258千円 (2025年9月末決算)
事業所	本社	島根県邑智郡美郷町小松地 320番地
	中間処理施設	島根県邑智郡美郷町小松地 316-4(小松地工場)
	収集運搬車駐車場	島根県邑智郡美郷町小松地 316-4(小松地工場)
	資材置き場	島根県邑智郡美郷町浜原 279-1
	大田事業所	島根県大田市波根町 907番地
事業の概要 (対象範囲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バーク堆肥製造販売</li> <li>・山林伐採造材及び集積作業</li> <li>・産業廃棄物収集運搬業及び処分業 (汚泥・木くず・家畜ふん尿の中間処理)</li> <li>・一般廃棄物収集運搬業及び処分業 (木くずの破碎・堆肥化)</li> <li>・バイオマス発電燃料用チップ材料仕入及び製造販売</li> </ul>	
レポートの対象期間 及び発行日	2024年10月1日～2025年9月30日 発行日:2025年12月29日	
環境管理責任者	小松地工場長	吉田 俊哉

担当者及び連絡先	環境事務局 龍岩 和則（事務部長） 安部 宏美（総務課） TEL:0855-77-0035 FAX:0855-77-0135 E-mail:info@sanko-ryokka.com	
敷地面積	本社	257m <sup>2</sup>
	小松地工場	36,665m <sup>2</sup>
	浜原事務所	229m <sup>2</sup>
	チップ工場	4,140m <sup>2</sup> （閉鎖）
	資材置き場	5,433m <sup>2</sup>
	大田事業所	7,142m <sup>2</sup>

\* 社員数 注)社員数は代表者を含む年度末の人数

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
社員数 (人)	45	44	45	45	45	44	43	40	37



\*事業活動に関する許可、登録の内容（産業廃棄物処理業及び一般廃棄物処理業許可）

	都道府県	積替え 保管	優良 認定	許可年月日 有効期限	許可番号	許可品目
産業廃棄物 収集運搬業	島根県	無	優	R5年11月24日 R12年11月23日	03200065599	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・ 廃アルカリ・廃プラスチック 類・紙くず・木くず・繊維く ず・動植物性残さ・動物系固 形不要物・ゴムくず・金属く ず・ガラスくず等・鉱さい・ がれき類・家畜ふん尿・動物 の死体・ばいじん・13号廃 棄物
	山口県	無	優	R3年4月20日 R10年4月19日	03500065599	
	鳥取県	無	優	R4年3月18日 R11年3月17日	03104065599	
	広島県	無	優	R5年3月30日 R12年3月29日	03400065599	木くず・汚泥・家畜ふん尿
産業廃棄物 処分量	島根県 破碎・堆肥化		優	R6年1月19日 R13年1月18日	03220065599	木くず・汚泥・家畜ふん尿
	松江市 破碎		優	R6年1月19日 R13年1月18日	12920065599	木くず
一般廃棄物 処理業	美郷町	運搬業		R5年10月1日 R7年9月30日	許可美郷住第 187号	木くず・竹・草等木質系廃棄 物、し尿及び汚泥
		処分量				
	飯南町	運搬業	R6年12月23日 R8年12月23日	飯住第263号	廃竹、草、木くず	
	川本町	運搬業		R7年2月28日 R9年2月28日	指令川町 第18号	木くず

※有資格者：産業廃棄物破碎・リサイクル施設技術管理士 1名

※事業の区分 破碎：木くず

堆肥再生：汚泥(有機物汚泥に限る)、木くず、家畜ふん尿以上3品目

※石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く

※当社は、(財)産業廃棄物処理事業振興財団が運営する情報開示システム(産廃ネット)を利用し、当社の産業廃棄物に関する情報を広く一般に公開していますのでご覧ください。

URL: [http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/n\\_search.php](http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/n_search.php)

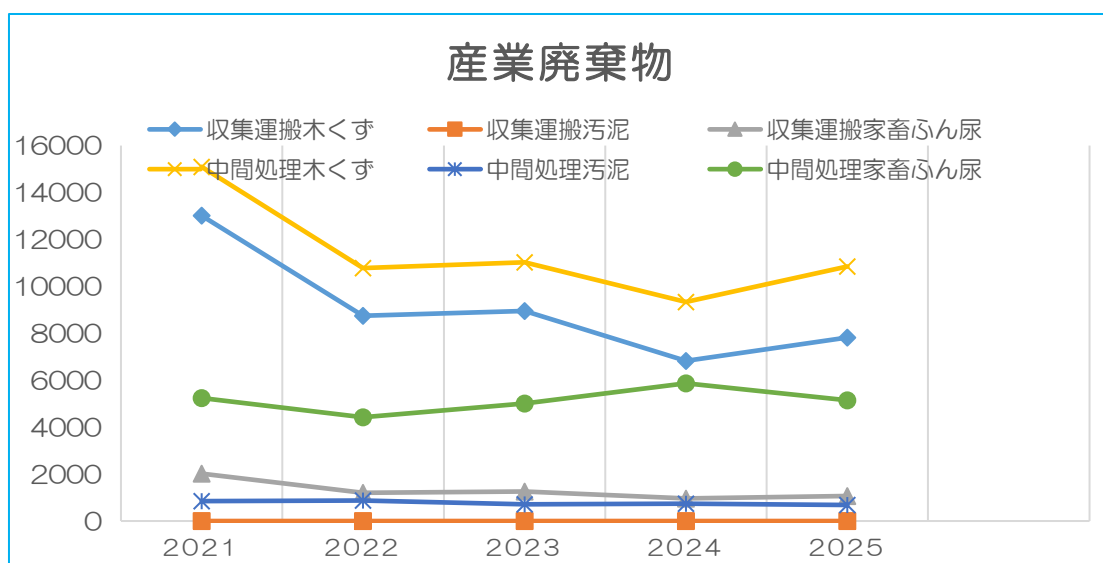
### 1-1 廃棄物処理料金

料金の提示：見積書による。現物、性状確認後見積書作成。

## 1-2 産廃処理実績

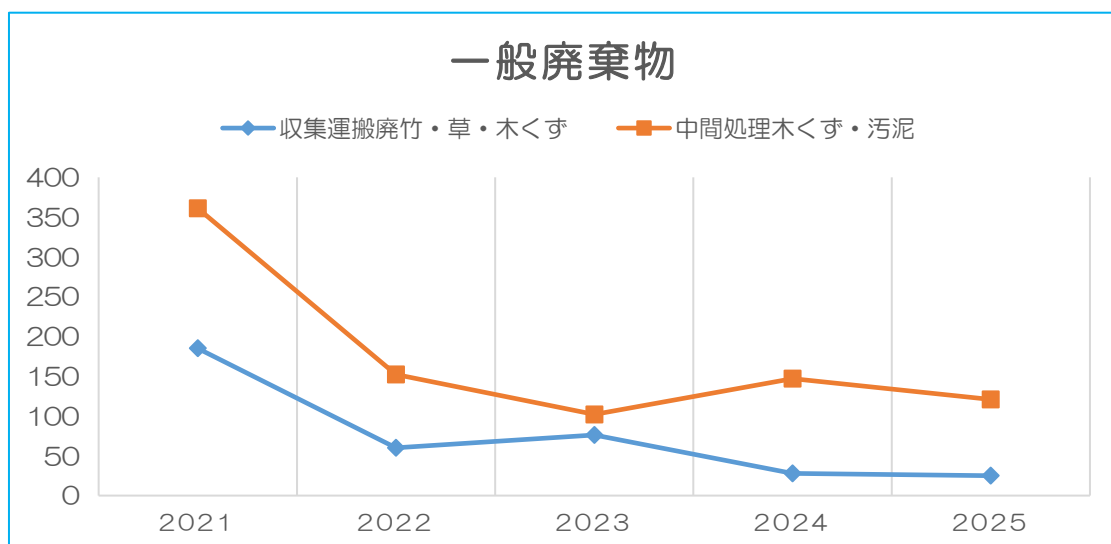
(単位：t)

			2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
産業廃棄物	収集運搬	木くず	13,012	8,750	8,957	6,824	7,824
		汚泥	0	0	0	0	0
		家畜ふん尿	2,019	1,203	1,262	963	1,064
	中間処理	木くず	15,095	10,785	11,022	9,336	10,850
		汚泥	853	873	717	733	683
		家畜ふん尿	5,24	4,423	5,003	5,868	5,152



(単位 t)

			2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
一般廃棄物	収集運搬	廃竹・草・木くず	185	60	76	28	25
	中間処理	木くず・汚泥	361	152	102	147	121



### 1-3 許可施設等の状況

#### 《産業廃棄物処理業》 \* 破碎施設 1、2、5 は廃止済み

##### 破碎施設 3 (HC2410)

施設の種類	木くずの破碎施設（移動式）
設置の場所	島根県内全域
設置位置	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外（基地破碎）及び島根県内産業廃棄物排出事業場（出張破碎）
設置年月日	平成 21(2009)年 4 月 28 日
処理能力	128 t / 時間、8 時間稼働、1,024 t / 日
設置許可年月日及び許可番号	平成 20(2008)年 8 月 7 日、廃第 28 号 平成 21(2009)年 2 月 18 日、廃第 29 号の 5（変更許可）

##### 破碎施設 4 (HC2410)

施設の種類	木くずの破碎施設（移動式）
設置の場所	島根県内全域
設置位置	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外（基地破碎）及び島根県内産業廃棄物排出事業場（出張破碎）
設置年月日	平成 21(2009)年 4 月 28 日
処理能力	128 t / 時間、8 時間稼働、1,024 t / 日
設置許可年月日及び許可番号	平成 21(2009)年 2 月 18 日、廃第 28 号の 6 平成 23(2011)年 2 月 21 日、廃第 29 号の 4（変更許可）

##### 破碎施設 6 (DW3060K)

施設の種類	木くずの破碎施設（移動式）
設置の場所	島根県内全域
設置位置	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外（基地破碎）及び島根県内産業廃棄物排出事業場（出張破碎）
設置年月日	平成 30(2018)年 10 月 25 日
処理能力	34.07 t / 時間、8 時間稼働、272.56 t / 日
設置許可年月日及び許可番号	平成 30(2018)年 10 月 25 日、廃第 28 号

破砕施設7 (AK565K)

施設の種類	木くずの破砕施設（移動式）
設置の場所	島根県内全域
設置位置	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外（基地破砕）及び島根県内産業廃棄物排出事業場（出張破砕）
設置年月日	令和6年（2024）12月9日
処理能力	18.1 t / 時間、8 時間稼働、144.8 t / 日
設置許可年月日及び許可番号	令和6年（2024）12月9日、廃第28号の4

\* 堆肥化施設1は閉鎖

堆肥化施設2

施設の種類	堆肥化施設
処理する廃棄物の種類	木くず、汚泥（有機物汚泥に限る）、家畜ふん尿
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外
設置年月日	平成 20(2008)年 8 月 5 日
処理能力	50 t / 日
設置許可年月日及び許可番号	許可対象外

《一般廃棄物処理業》

破砕施設3 (HC2410)

\*破砕施設1、2、5は廃止済み

許可の年月日	平成 20(2008)年 8 月 7 日
許可番号	廃第 1 号の 5
施設の種類及び処理する一般廃棄物	ごみ処理施設(政令第 5 条第 1 項、一般廃棄物の堆肥化施設) 木くず 以上 1 品目、石綿含有一般廃棄物及び特別管理一般廃棄物であるものを除く
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外
処理能力	128 t / 時間 8 時間稼働 1,024 t / 日
許可の条件	特記事項なし
留意事項	① 施設の設置にあたっては、各種関係法規を遵守すること。 ② 計画内容に変更等があった場合は、速やかに連絡し、指示を受けること。 ③ 施設の使用前検査を提出し、職員の検査を受けること。

#### 破碎施設4 (HC2410)

許可の年月日	平成 23(2011)年 2 月 21 日
許可番号	廃第 1 号の 2
施設の種類及び処理する一般廃棄物	ごみ処理施設(政令第 5 条第 1 項、一般廃棄物の堆肥化施設) 木くず 以上 1 品目、石綿含有一般廃棄物及び特別管理一般廃棄物であるものを除く
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外
処理能力	128 t / 時間 8 時間稼働 1,024 t / 日
許可の条件	特記事項なし
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設の設置にあたっては、各種関係法規を遵守すること。</li> <li>② 計画内容に変更等があった場合は、速やかに連絡し、指示を受けること。</li> <li>③ 施設の使用前検査を提出し、職員の検査を受けること。</li> </ul>

#### 破碎施設6 (DW3060K)

許可の年月日	令和 3 年 6 月 17 日
許可番号	廃第 52 号の 2
施設の種類及び処理する一般廃棄物	木くずの破碎施設(移動式、政令第 7 条第 8 号の 2) 木くず (ほかの一般廃棄物と分別して収集されたものに限る。)
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4
処理量の見込み	50 m <sup>3</sup> /年
許可の条件	特記事項なし
留意事項	生活環境保全上支障のある位置での稼働は行わないこと。

#### 破碎施設7 (AK565K)

許可の年月日	令和 7 年 1 月 20 日
許可番号	廃第 52 号の 3
施設の種類及び処理する一般廃棄物	木くずの破碎施設(移動式、政令第 7 条第 8 号の 2) 木くず (ほかの一般廃棄物と分別して収集されたものに限る。)
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4
処理量の見込み	30 m <sup>3</sup> /年
許可の条件	特記事項なし
留意事項	生活環境保全上支障のある位置での稼働は行わないこと。

堆肥化施設 1 は閉鎖

堆肥化施設 2

堆肥化施設 2	小松地工場
許可の年月日	平成 20(2008)年 8 月 5 日
許可番号	廃第 1 号の 2
施設の種類及び処理する一般廃棄物	ごみ処理施設(政令第 5 条第 1 項、一般廃棄物の堆肥化施設) 木くず、し尿汚泥
設置場所	邑智郡美郷町小松地 316 番地 4 外
処理能力	51.25 t / 日 (木くず : 51.25 t / 日、し尿汚泥 : 16.01 t / 日)
許可の条件	特記事項なし
留意事項	① 施設の設置にあたっては、各種関係法規を遵守すること。 ② 計画内容に変更等があった場合は、速やかに連絡し、指示を受けること。 ③ 施設の使用前検査を提出し、職員の検査を受けること。



## 1-4 産業廃棄物収集運搬施設の保有状況

産業廃棄物運搬車輛の種類		保有数	運搬品目
2tダンプ 島根 400 ヲ 81-55		1	燃え殻、汚泥 廃油、廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類、 紙くず、木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物
大型ダンプ 島根 100 は 19-30		1	ゴムくず、金属くず ガラスくず等 コンクリートくず
キャブオーバ（台車） 島根 100 は 20-58		1	鋳さい、がれき類 家畜ふん尿 家畜の死体 ばいじん 13号廃棄物 コンクリートくず
ウォーキングフロア 島根 100 は 17-73 島根 100 は 20-01 島根 100 は 22-00		3	燃え殻、汚泥 廃プラスチック類、 紙くず、木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず、金属くず ガラスくず等 鋳さい、がれき類 家畜ふん尿 家畜の死体 ばいじん、13号廃棄物 コンクリートくず

<p>ダンプ（脱着コンテナ） 島根 100 は 26-96</p> <p>脱着コンテナ（10m<sup>3</sup>） 13台</p> <p>脱着コンテナ（8m<sup>3</sup>） 4台</p>	 	<p>1</p> <p>燃え殻、汚泥 廃油、廃酸、 廃アルカリ 廃プラスチック類、 紙くず、木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず、金属くず ガラスくず等 鋳さい、がれき類 家畜ふん尿 家畜の死体 ばいじん、13号廃棄物 コンクリートくず</p>
<p>グラップル付トラック 島根 100 は 12-72 島根 100 は 14-60 島根 100 は 16-77 島根 100 は 25-14 島根 100 は 25-19</p>		<p>5</p> <p>燃え殻、汚泥、 廃プラスチック類、 紙くず、木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず、金属くず ガラスくず等 鋳さい、がれき類 家畜ふん尿 家畜の死体 ばいじん、13号廃棄物 コンクリートくず</p>



### 1-5 廃棄物の保管場所の状況（保管の上限量）

・木くず(枝葉・根株・建築廃材等)

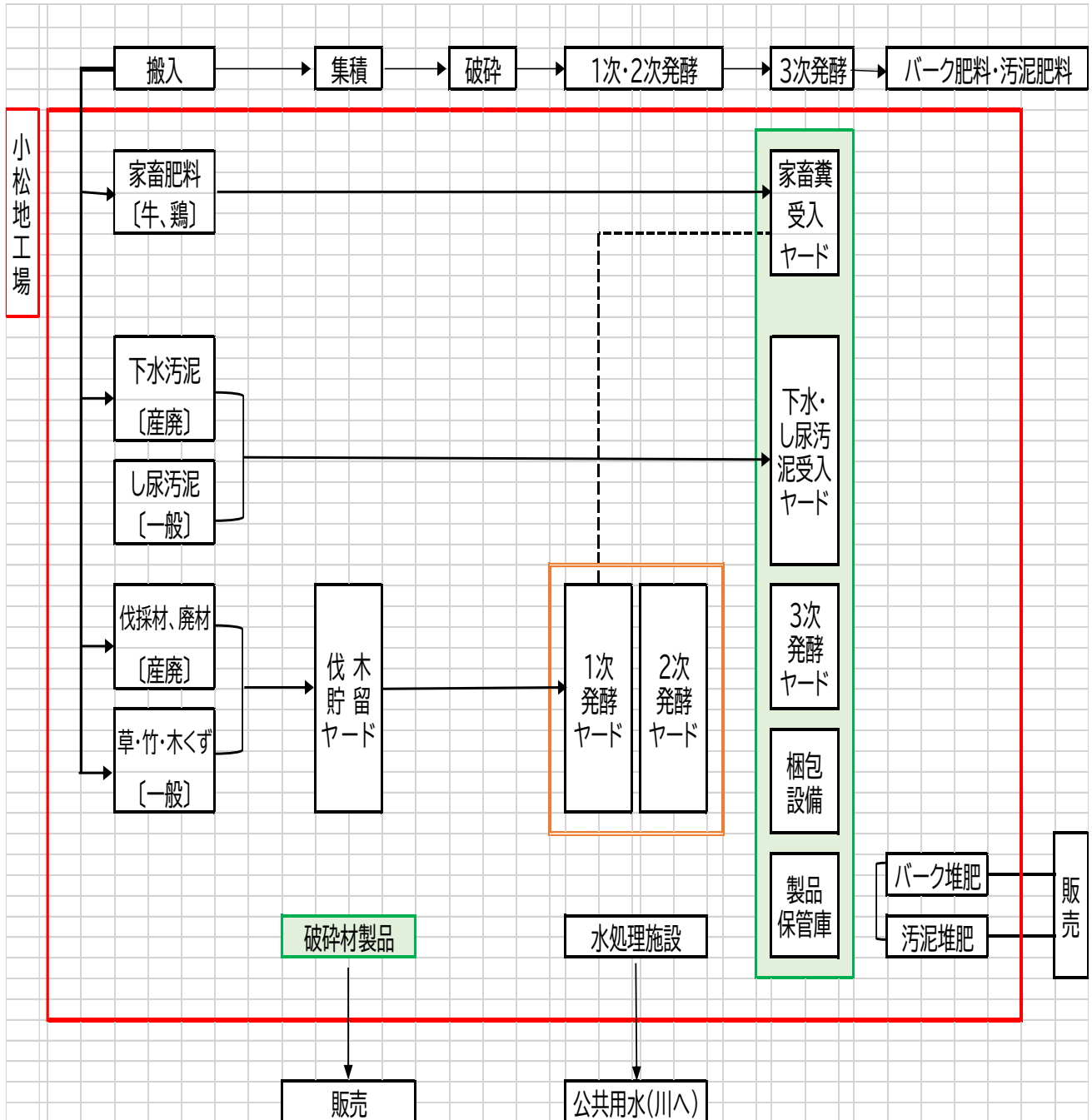
最大積み上げ高さ・・・5m  
保管可能量・・・3,726.40m

・木くず(破碎チップ)

最大積み上げ高さ・・・2.5m  
保管可能量・・・208.33m3

### 1-6 処理工程図

廃棄物として受け入れた木くずは、大型木材破碎機でチップ化した後、堆肥として生まれ変わります。また、森林経営計画のもと伐採された木材は、バイオマス発電燃料用チップとして利用されます。当社では長年培ったノウハウと技術、そして様々な用途にチップ化し、有効活用することを可能としており、中国地方トップクラスの生産能力を誇っています。



## ②対象範囲(認証・登録範囲)

登録範囲は全事業所を対象とし、登録内容は事業内容とする。

### (1) 事業内容

- バーク堆肥製造販売、山林伐採造材及び集積作業
- 産業廃棄物収集運搬業及び処分業（中間処理）
- 一般廃棄物収集運搬業及び処分業（中間処理）
- チップ材料仕入及び製造販売

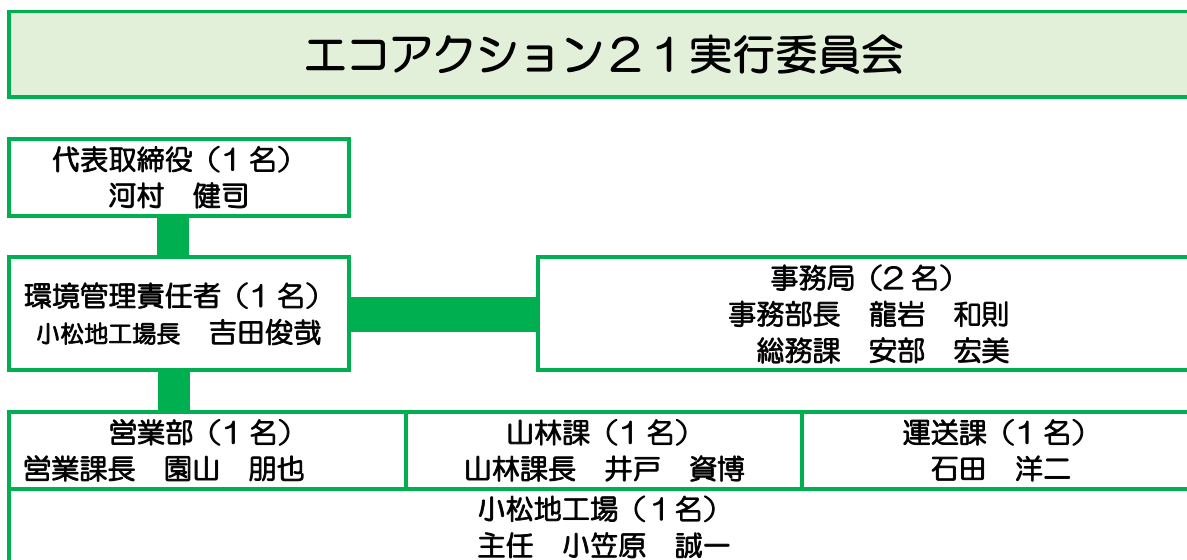
### (2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2025年度（2024年10月1日～2025年9月30日）

発行日：2025年12月29日

### (3) 実施体制図

当社の環境経営方針に基づき、環境管理責任者・事業責任者・エコアクション21事務局及びエコアクション21実行委員会が中心となって、環境負荷削減活動を進めると共に、環境経営システムの定着及び環境に関して尊法及び継続的改善に取り組む。  
代表者・各部署の代表で構成される。



	役割・責任・権限
代表者 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の策定、見直しを社員へ周知</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境経営マニュアルの作成・変更</li> <li>・エコアクション21 実行委員会へのオブザーバー参加</li> <li>・環境経営システムの評価・見直し</li> <li>・環境活動の評価と指摘・是正確認</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> <li>・環境目標、環境活動計画書を承認</li> </ul>

<p>環境管理責任者 工場長 (吉田 俊哉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション 21 実行委員会の総括</li> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境目標、環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> <li>・エコアクション 21 実行委員の任命</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(初期対応、代表者への報告)</li> </ul>
<p>環境事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・エコアクション 21 実行委員会の事務局</li> <li>・環境活動レポートの編集責任者</li> <li>・月一度エコアクション 21 実行委員会の召集</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案及び予算案の作成</li> <li>・内部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備え付け及び HP での公開と地域事務局への送付)</li> <li>・産業廃棄物管理票交付状況報告書の作成(島根県)</li> </ul>
<p>エコアクション 21 実行委員会</p> <p>代表者、環境管理責任者、事務局 各部門責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第 3 土曜日 15 時～17 時開催とし、環境管理責任者を議長に、エコアクション 21 の要求事項を満たす「環境経営システム」の構築、実施、管理及び進捗状況の調整と推進方法の提案、決議を行う。なお、オブザーバーである社長は意見を述べる事ができ、代表者は取組内容の評価、見直しを行うと共に各事項をその場で決定できる。</li> <li>・各部門より報告される問題点の是正及び予防措置の実施</li> <li>・前月の電力・水道・ガソリン・軽油の使用量の確認</li> <li>【推進委員】・重点目標の決定及び月二度程度の見回り</li> <li>・見回りチェックシートの記入及び発表</li> <li>・補佐人の指名 ・問題点の指摘及び是正措置の提案</li> </ul>
<p>部門責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業・部署における環境管理に関する責任者</li> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・エコアクション 21 実行委員会への出席</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
<p>全社員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</li> <li>・エコアクション21補佐人に指名された時は実行委員会と共に社内及び工場内の見回り。</li> <li>【補佐人】</li> <li>・推進委員の補佐役として月2回の見回り</li> <li>・見回りチェックシートの記入及び発表</li> <li>・EA21実行委員会への出席</li> <li>・問題点の是正及び予備措置の提案</li> </ul>

## 山興緑化 環境経営方針

### \*基本理念

「再生、それは人と地球にやさしいリサイクル技術」  
森で伐採されて私たちの生活に役立ってきた木材。  
道路建設や土地造成など公共工事のために排出された伐採木。

これまでは焼却という手段で処理されてきました。しかしこれからは地球環境の為に、

資源としてのリサイクル発想が求められています。

**「土から生まれたものは、土にかえそう。」**

この理念がある限り、更なる新発想で新たな可能性を追求していきます。

### \*基本方針

当社は基本理念をもとに、関係法令を遵守し、次の事項を自主的且つ積極的に取り組むと共に、定期的な見直し、システムの継続的な改善を行います。

- 1、整理整頓をし、働きやすい環境を維持します。
- 2、エコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組みます。
- 3、事業活動に伴って生じる二酸化炭素排出量と排水量を削減します。
- 4、受託した産業廃棄物を適正に処理し、再生利用、再資源化、減量化し、リサイクルに取り組むとともに、自社から排出する廃棄物の減量に努めます。
- 5、地域社会の一員として、事業場周辺の清掃活動等を通して、地域社会の環境リーダーとして貢献に努めます。
- 6、グリーン購入について学習し、推進します。
- 7、化学物質は、慎重かつ適正に使用・保管します。
- 8、関連法令を遵守し、環境理念・環境方針の周知徹底で、確実に実践します。

### \*営業目標

- ・ゆとりある営業活動を行い、エコドライブに努める。
- ・受託した産業廃棄物の処分・再資源化の仕組みを広めます。
- ・エコアクション21の取り組みを説明し、実践します。
- ・工場内のみならず、営業先、現場内でも再生利用を推進します。

環境方針策定日：2009年11月20日

改訂日：2020年11月15日

山興緑化有限公司

代表取締役 河村 健司

## ④中長期環境目標の設定

様式 5-01

作成日：2024年10月22日

改訂日： 年 月 日

中長期環境目標の設定		承認						作成			
		吉田博之						龍岩和則			
		目標（取組） 項目	基準年値 (2022年 度)	2025年度目標 (対基準年比削減% と目標値)		2026年度目標 (対基準年比削減% と目標値)		2027年度目標 (対基準年比削減% と目標値)		2028年度目標 (対基準年比削減% と目標値)	
%	目標量			%	目標量	%	目標量	%	目標量	%	目標量
二酸化炭素排出量の削減 (単位：kg-CO <sub>2</sub> )	1,483,226	3	1,438,729	4	1,423,897	5	1,409,065	6	1,338,463	7	1,324,224
電力消費量の削減(単位： kwh)	269,147	3	261,073	4	258,381	5	255,690	6	242,878	7	240,294
ガソリン消費量の削減(単位： L)	32,536	3	31,560	4	31,235	5	30,909	6	29,360	7	29,048
軽油消費量の削減 (単位：L)	501,209	3	486,173	4	481,161	5	476,149	6	452,291	7	447,479
灯油消費量の削減(単位： L)	280	0	280	0	280	0	280	0	280	0	280
ガス消費量の削減(単位： kg)	25.7	0	25.7	0	25.7	0	25.7	0	25.7	0	25.7
産業廃棄物排出量の削減(単位： kg)	9,990	3	9,690	4	9,590	5	9,491	6	9,015	7	8,919
一般廃棄物(不燃ごみ、可燃ごみ)排出量削減 (単位：kg)	940	3	912	4	902	5	893	6	848	7	839
水使用量の削減(単位： m3)	589	3	571	4	565	5	560	6	532	7	526
化学物質適正管理	PRTR制度対象化学物質の使用はないので、目標数値は設定せず、使用する化学物質の適正管理を確実に行う	化学物質の適正管理を確実にを行う									
グリーン購入	数値目標は設定せず可能な限りグリーン購入を推進	可能な限りグリーン購入を推進する									
受託した産業廃棄物の収集運搬での環境配慮	数値目標は設定せず、収集運搬車両の燃費向上のための活動を推進	収集運搬車両の燃費向上のための活動を推進									
受託した産業廃棄物の処分での環境配慮	数値目標は設定せず、適正処理を行い、100%の再資源化を進める	適正処理を行い、100%の再資源化を進める									
環境美化活動(社会貢献)の実施	例年通り(年2回の大掃除、年1回以上の社会貢献活動)	例年通り(年2回の大掃除、年1回以上の社会貢献活動)									

※ 事業年度期間は、前10月～9月

※ 目標設定の灯油、ガスについては、少量により基準年度の数値を維持する。

※ 使用電力の二酸化炭素排出量産出の排出係数は、令和5年度・中国電力ネットワーク(株)の調整後排出係数 0.423 kg-CO<sub>2</sub>/kwh を使用。

## ⑤環境経営目標の実績

令和7年（2024）10月から令和7年（2025）9月にかけて、環境方針・環境活動計画に基づいて行った活動について、目標の達成状況を以下に示します。

目標（取組）項目	単位	2025年度 目標値	2025年度 実績値	目標値に対する 実績割合	達成 状況
二酸化炭素排出 量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,438,729	1,220,900	85%	○
電力消費量の 削減	Kwh	261,073	182,108	70%	○
ガソリン消費量 の削減	ℓ	31,560	29,340	93%	○
軽油消費量の 削減	ℓ	486,173	416,949	86%	○
灯油消費量の 削減	ℓ	280	0	0%	○
ガス消費量の 削減	kg	25,7	23,8	93%	○
産業廃棄物の 削減	重量(kg)	9,690	11,840	122%	×
一般廃棄物の 削減	重量(kg)	912	650	71%	○
水使用量の 削減	容量(m <sup>3</sup> )	571	253	44%	○
	目 標	実 績			評価
化学物質適正管 理	PRTR 制度対象化学物質の使用はないので、目標数値は設定せずに環境経営計画を進める。 (使用する化学物質の適正管理を確実に行う)	保管庫の施錠の確認、使用した化学物質の数量管理を毎月行った。			○
グリーン購入	数値目標は設定せずに環境経営計画を進める。(可能な限りグリーン製品の購入を推進していく)	商品選定の際にできるだけグリーン製品を購入するようにした。			○
受託した産業廃 棄物の収集運搬 での環境配慮	数値目標は設定せずに環境経営計画を進める。(収集運搬車両の燃費向上のための活動を推進していく)	毎月車ごとに燃費を確認した。年に一回の講習会の日に車の販売メーカーによる「エコツリーレポート」による勉強会を行い、安全運転・エコ運転を意識するようにした。			○
受託した産業廃 棄物の処分での 環境配慮	数値目標は設定せず環境経営計画を進める。 (適正処理を行い、100%の再資源化を進める)	受け入れた産業廃棄物の再資源化100%を維持した。			○
環境美化活動(社 会貢献)の実施	例年通り(年2回の大掃除、年1回以上の社会貢献活動)	今年度も社会貢献活動として、近隣の道路の清掃活動及び草刈りを行った。			○

- 注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、令和5年度・中国電力ネットワーク(株)の調整後排出係数0.434 kg-CO<sub>2</sub>/kwhによる。  
 注2) 大田事業所・資材置場は無人で電気消費量が微量であり、通常、資材置き場の水使用量も微量なので、本社分にこれらを含む。

⑥環境経営計画及び環境経営目標と環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2025年度 環境経営計画及び環境経営目標と環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

活動実施状況: ◎(100%実施) ○(90%以上～100%未満実施) △(80%～90%実施) ×(80%未満実施)

取組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
<b>電力の削減(電力による二酸化炭素排出量の削減)</b>			
数値目標	70%	■継続 □基準見直し	
・エアコンの温度設定は、夏27℃ 冬23℃	◎	継続	本社事務所、小松地工場とも前年比でも削減されている。特に小松地工場は前年比93%と削減できた。削減できた要因として、冬時期の気温が意外と高く、燃料チップのエアレーション使用を抑えたことによる減少と、梱包機械の稼働が前年より減っている影響だが、裏を返せばそれだけ生産数量が減っているということで、複雑な感想である。忙しくなっていくことを望むが、稼働が多くなった時にこそ毎月のエコアクション会議時に各部署の電力使用量を把握し、まだまだ改善点を模索していくということで引き続き取組を継続する。
・屋休みの全ての蛍光灯をオフにする	◎	継続	
・外出時・帰社時のパソコンの電源を切る	◎	継続	
・給湯ボットの温度設定に気をつける	◎	継続	
・工場設備の計画的な稼働(メハリをつけた稼働)	◎	継続	
・工場機械の異常の早期発見(点検管理)	○	継続	
・チップ製造用切削機の刃の管理点検		終了	
・毎月の電力使用量の把握(エコ会議時)	◎	継続	
<b>燃料の削減(自動車燃料・重機燃料による二酸化炭素排出量の削減)</b>			
数値目標・ガソリン	93%	■継続 □基準見直し	
数値目標・軽油	86%	■継続 □基準見直し	
・急加速・急停止の防止	◎	継続	目標は達成しているが、ガソリン・軽油とも前年比増加している。益田市内での現場受注が数件あり、その影響で通勤車両のガソリンや大型車の軽油使用が影響したか。 エコアクションの会議でも車両それぞれの燃費を出し、注視しているが、今一度エコドライブに努力し、来期もやっていく。
・無駄な荷物を積まない	○	継続	
・法定速度を遵守	◎	継続	
・アイドリングストップ	○	継続	
・タイヤ空気圧の点検	△	強化	
・収集運搬取扱い荷物の平準化	○	継続	
・重機の計画的な稼働(メハリをつける)	○	継続	
・車両・重機の毎月の燃費確認(エコ会議時)	◎	継続	
<b>受託した廃棄物の収集運搬での環境配慮</b>			
数値目標	設定なし	■継続 □基準見直し	
収集運搬車両の燃費向上活動推進	◎	継続	エコ運転講習等実施。引き続き継続する。
<b>受託した廃棄物の処分での環境配慮</b>			
数値目標	設定なし	■継続 □基準見直し	
適正処理を行い100%の再資源化	◎	継続	100%再資源化を実現。引き続き継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b>			
数値目標	71%	■継続 □基準見直し	
・分別による古紙のリサイクル化	○	強化	どの部署もしっかり分別し、減量化に取り組んでいる。 引き続き取組を継続する。
・裏紙使用	◎	継続	
・ミスコピーの防止	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	強化	
<b>産業廃棄物(廃プラ)の削減</b>			
数値目標	122%	■継続 □基準見直し	
・社内での再使用	×	強化	前年度とほぼ同じ数値。空袋の仕様ではないところがある。 しっかりと分別して減量に努める。 引き続き取組を継続する。
・リサイクル先の開拓	△	強化	
・工程ロスの削減	△	強化	
・分別回収	◎	継続	
・包装仕様の見直しによる減量化	×	強化	
・包装工程の改善	×	強化	
・毎月の処分量の把握(エコ会議時)	◎	継続	
<b>水道水の削減(節水)</b>			
数値目標	44%	■継続 □基準見直し	
・蛇口の閉め忘れ防止	△	強化	前年度より微増したが、だいたい最低限の使用にとどめていると思われる。漏水もなくムダな使用は無かった。 雨水もしっかり活用している。 エコアクション会議で毎月の使用量をチェックしている。 引き続き取組を継続する。
・雨水利用	◎	継続	
・手洗い、洗物時の日常的な節水の励行	○	継続	
・漏水の点検	△	強化	
・毎月の処分量の把握(エコ会議時)	◎	継続	
<b>化学物質の適正管理</b>			
数値目標	設定なし	■継続 □基準見直し	
・使用する化学物質の適正管理を確実に行う	◎	継続	化学物質の適正管理は、計画通り実施。環境活動計画は、次年度も継続。
<b>グリーン購入の推進</b>			
数値目標	設定なし	■継続 □基準見直し	
・事務用品のグリーン製品購入推進	◎	継続	グリーン製品購入の推進は、計画の通り実施。環境活動計画は、次年度も継続。
<b>環境美化活動(社会貢献)</b>			
数値目標	設定なし	■継続 □基準見直し	
・事業場周辺等の美化活動実施	◎	継続	環境美化等の活動は計画通り実施し、周辺自治会や住民から感謝されている。環境活動計画は、次年度も継続する。

※灯油、ガスについては、微量の為、計画・目標設定せず。

## 【エコアクション21 実行委員会の議事録の実例】

★毎月の実行委員会で、部署ごとの取組や改善点について話し合ったり、年間行事の企画、提案をしたりしています。

(例)

エコアクション21 実行委員会

日 時	令和7年7月19日(土) 15:00~15:35
件 名	第168回エコアクション21 実行委員会
場 所	本社 会議室
出席者	河村社長、吉田常務、吉田、園山、龍岩、井戸、小笠原、石田、駒木 計9名
記録者	駒木
内 容	
<p>① 先月の ea21 推進委員：小笠原さん（補佐人：澤田さん）より報告 （別紙記録の通り） 次期推進委員の選出 石田さん、 補佐人：都志見さん 見回りのチェックポイント：水路、側溝、溜枳チェック *今後の順番 石田→龍岩→井戸→吉田工場長→園山→駒木→小笠原…となります。</p> <p>② 部署ごとの重点目標の自己診断</p> <p>本社事務所 “電気の節約&amp;ごみ分別の徹底とごみの減量化” 暑いので朝から冷房をつける事が多くなった。設定温度は27度より下げないように使用する。ゴミの分別、減量化は引き続き進めていく。</p> <p>営業部 “エコドライブの実践・営業目標の実践” エコドライブの実践はそれぞれで行っている。暑くなってきてエアコンの使用が増えているが、できる限り木陰で休憩するようにする。</p> <p>小松地工場 “経費の削減 「機械重機の車内清掃及びメンテナンス」” 重機のエアコンを使用する事が多くなった。梅雨も終わり埃っぽくなるので、フィルター関係の清掃、点検をして故障のないようにしたい。 車外清掃も盆前までにはやりたい。</p> <p>運送課 “エコドライブの実践” エコドライブの実践。車両の整備、月例点検、引き続き行っていく。</p> <p>山林課 “山林倉庫の片づけ、整理整頓&amp;山林機械の定期点検の実施” 山林倉庫の整理整頓は合間を見て引き続き行っていく。重機の清掃、点検は土埃で汚れるのでコンプレッサーを使ってその都度やっていく。</p>	

【実行委員会で提示した資料の一例：水道・電気・廃プラ処分量の推移】

小松地・電気使用量推移					水道使用量推移					廃プラ処分量推移												
		10月	11月	12月	1月			10月	11月	12月	1月			10月	11月	12月	1月					
R4年度	工需(kwh)	17,348	19,730	16,664	18,318	R1年度	小松地(m3)	25	20	22	20	R1年度	廃プラ処分量(t)	0.00	1.96	1.67	0.00					
	電気料(税別)	316,465	358,341	320,069	360,590		浜原(m3)	5	5	6	6		パーク出荷量(t)	1,793	1,656	1,041	933					
	梱包リサイクル生産数(袋)	103,751	83,434	41,389	69,498		R2年度	小松地(m3)	22	25	23		25	R2年度	廃プラ処分量(t)	1.02	1.43	0.00	1.15			
	事務所(kwh)	757	873	974	940			浜原(m3)	16	2	4		4		パーク出荷量(t)	1,264	1,106	765	1,002			
	電気料(税別)	21,956	25,289	28,393	28,287			R3年度	小松地(m3)	21	24		27		24	R3年度	廃プラ処分量(t)	0.00	1.26	1.15	0.00	
R5年度	工需(kwh)	15,229	15,119	13,278	14,677	浜原(m3)			2	6	10	12	R4年度		廃プラ処分量(t)		0.00	0.96	1.28	0.00		
	電気料(税別)	453,995	467,874	439,408	425,060	R4年度			小松地(m3)	24	25	27			33		R4年度	パーク出荷量(t)	1,806	1,437	758	1,093
	梱包リサイクル生産数(袋)	89,617	94,743	72,675	72,597		R5年度		小松地(m3)	16	19	24		16	R5年度			廃プラ処分量(t)	0.00	1.32	0.00	0.00
	事務所(kwh)	678	875	898	844				浜原(m3)	24	6	7		3				R6年度	パーク出荷量(t)	1,421	1,510	1,149
	電気料(税別)	27,708	36,000	37,417	30,419			R6年度	小松地(m3)	14	19	18		20		R6年度			廃プラ処分量(t)	1.69	0.00	1.45
R6年度	工需(kwh)	18,216	17,461	15,291	18,549				浜原(m3)	6	4	11	31	R7年度					パーク出荷量(t)	1,146	1,062	919
	電気料(税別)	435,885	425,606	381,923	444,438	R7年度			小松地(m3)	16	19	24	16				R7年度		廃プラ処分量(t)	0.00	0.00	2.07
	梱包リサイクル生産数(袋)	74,242	72,387	56,059	52,261		浜原(m3)		3	2	3	0	R7年度		パーク出荷量(t)				908	635	605	520
	事務所(kwh)	687	799	885	912		R7年度		小松地(m3)	19	18	21			18			R7年度	パーク出荷量(t)	908	635	605
	電気料(税別)	20,269	22,832	24,955	25,683			浜原(m3)	0	4	4	0										
R7年度	工需(kwh)	11,950	14,792	13,943	16,194			小松地(m3)	19	18	21	18		パーク出荷量(t)	908	635			605	520		
	電気料(税別)	346,357	423,367	401,855	428,822	浜原(m3)		0	4	4	0											
	梱包リサイクル生産数(袋)	62,469	53,686	31,142	46,116																	
	事務所(kwh)	706	804	875	889																	
	電気料(税別)	26,859	31,891	33,951	35,495																	

【実行委員会で提示した資料の一例：燃費の推移】

令和7年度 車両燃費表												
		トラック	トラック	トラック	トラック	トラック	ダンプ	チップ	チップ	チップ	コンテナ	合計
R7年度	車番	2514	2519	1460	1677	1272	1930	1773	2001	2200	2696	
10月	走行距離	3,685	4,119	2,506	4,436	660	3,486	3,384	4,381	6,157	3,794	36,608
	使用燃料	1,750	1,430	1,010	1,990	290	1,130	1,190	1,580	2,100	680	13,150
11月	走行距離	5,619	5,462	3,567	4,964	2,687	2,475	2,276	6,683	6,061	3,476	43,270
	使用燃料	2,520	1,920	1,650	2,140	1,400	830	840	2,280	2,030	630	16,240

令和6年														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均	年間合計
1680(新見)	312,633	318,017	323,224	327,791	332,366	337,776	344,016	349,305	352,864	358,240	362,847	368,161		
走行距離(km)	5,428	5,384	5,207	4,567	4,575	5,410	6,240	5,289	3,559	5,376	4,607	5,314	5,079.7	60,956 km
燃料(ℓ)	344	293	346	263	289	290	362	320	235	344	298	354	311.5	3,738 ℓ
月燃費	15.8	18.4	15.0	17.4	15.8	18.7	17.2	16.5	15.1	15.6	15.5	15.0	16.3	
先月比	-1.8	2.6	-3.3	2.3	-1.5	2.8	-1.4	-0.7	-1.4	0.5	-0.2	-0.4		
前年比	-1.1	2.4	-1.9	0.3	-0.9	1.1	-1.0	0.0	-0.7	-0.3	-0.9	-2.6		
4390(岡山)	329,793	333,640	338,076	340,537	344,434	348,755	353,683	357,536	361,999	366,700	370,639	374,419		
走行距離(km)	5,204	3,847	4,436	2,461	3,897	4,321	4,928	3,853	4,463	4,701	3,939	3,780	4,152.5	49,830 km
燃料(ℓ)	236	162	228	133	168	205	227	179	204	265	216	229	204.3	2,452 ℓ
月燃費	22.1	23.7	19.5	18.5	23.2	21.1	21.7	21.5	21.9	17.7	18.2	16.5	20.5	
先月比	1.8	1.7	-4.3	-1.0	4.7	-2.1	0.6	-0.2	0.4	-4.1	0.5	-1.7		
前年比	1.4	4.4	-0.4	-1.2	4.5	-1.1	-3.5	0.6	1.9	-1.5	-0.1	-3.8		
4357(澤田)	174,823	179,245	183,291	186,545	190,112	193,913	198,640	203,088	207,346	212,505	215,784	219,468		
走行距離(km)	4,867	4,422	4,046	3,254	3,567	3,801	4,727	4,448	4,258	5,159	3,279	3,684	4,126.0	49,512 km
燃料(ℓ)	253	281	255	166	229	239	246	269	248	331	200	241	246.5	2,958 ℓ
月燃費	19.2	15.7	15.9	19.6	15.6	15.9	19.2	16.5	17.2	15.6	16.4	15.3	16.8	
先月比	2.5	-3.5	0.1	3.7	-4.0	0.3	3.3	-2.7	0.6	-1.6	0.8	-1.1		
前年比	0.2	-2.4	0.0	4.0	-2.2	-1.6	-0.1	-0.7	-1.7	-0.4	1.5	-1.5		

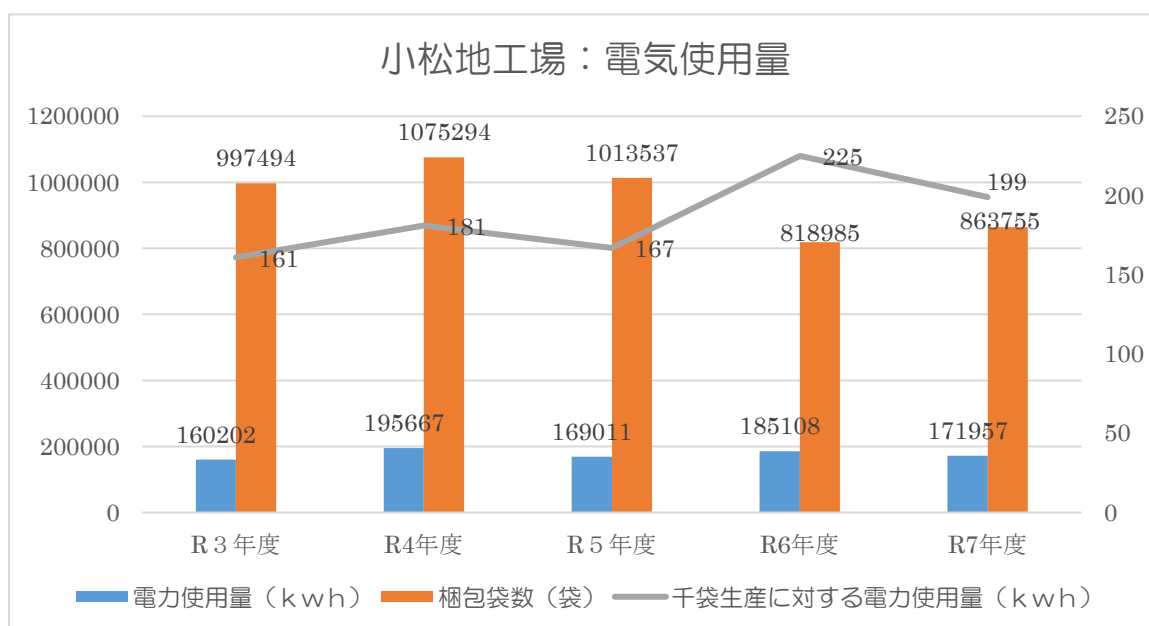
車両燃費																	
車両		R6 1月	R6 2月	R6 3月	R6 4月	R6 5月	R6 6月	R6 7月	R6 8月	R6 9月	R6 10月	R6 11月	R6 12月	R7 1月	R7 2月	R7 3月	
65-14 常務車	距離(km)	183,912	186,719	189,221	191,108	193,345	195,180	197,037	199,144	200,450	202,245	204,075	206,909	209,034	211,387	213,695	
	燃費(ℓ)	2,201	2,807	2,502	1,887	2,237	1,835	1,857	2,107	1,335	1,755	1,890	2,734	2,225	2,353	2,298	
	燃費(km/ℓ)	172.0	212.0	177.0	156.0	196.0	159.0	128.0	135.0	128.0	142.0	159.0	187.0	160.0	179.0	165.0	
	燃費(km/ℓ)	12.8	13.2	14.1	12.1	16.4	11.5	14.5	15.6	10.4	12.4	11.5	14.6	13.9	13.1	13.9	
71-19 吉田俊車	距離(km)	59,102	59,597	60,331	60,549	60,769	60,969	61,374	61,555	61,769	61,915	62,051	62,183	62,268	63,014	63,153	
	燃費(ℓ)	360	495	734	218	220	230	375	181	214	146	136	112	205	846	139	
	燃費(km/ℓ)	32.0	65.0	60.0	31.0	0.0	34.0	66.0	33.0	35.0	34.0	0.0	32.0	23.0	60.0	33.6	
	燃費(km/ℓ)	11.3	7.6	12.2	7.0	14.1	6.8	5.7	5.5	6.1	4.3	8.3	7.8	13.8	10.8	4.1	

## ⑦環境経営活動による各部門の数値の推移

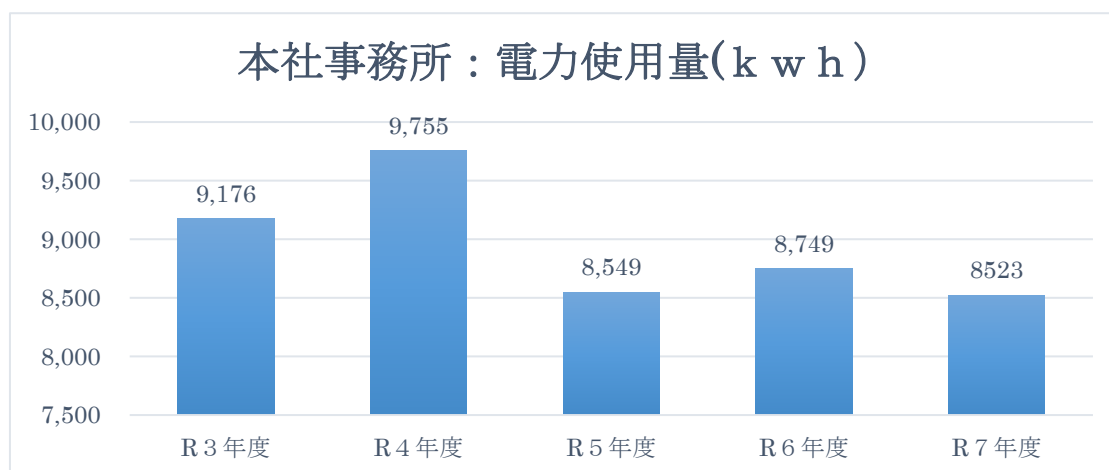
月に一度のエコアクション 21 実行委員会で数値の確認を行っています。数値が大幅に変化しているときには、その原因について話合います。ここでは年別の推移を示します。

### 【電気使用量】

小松地工場	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
電力使用量(kwh)	160,493	195,667	169,011	185,108	171,957
梱包袋数	997,494	1,075,294	1,013,537	818,985	863,755
千袋生産に対する電力使用量(kwh)	161	181	167	225	199

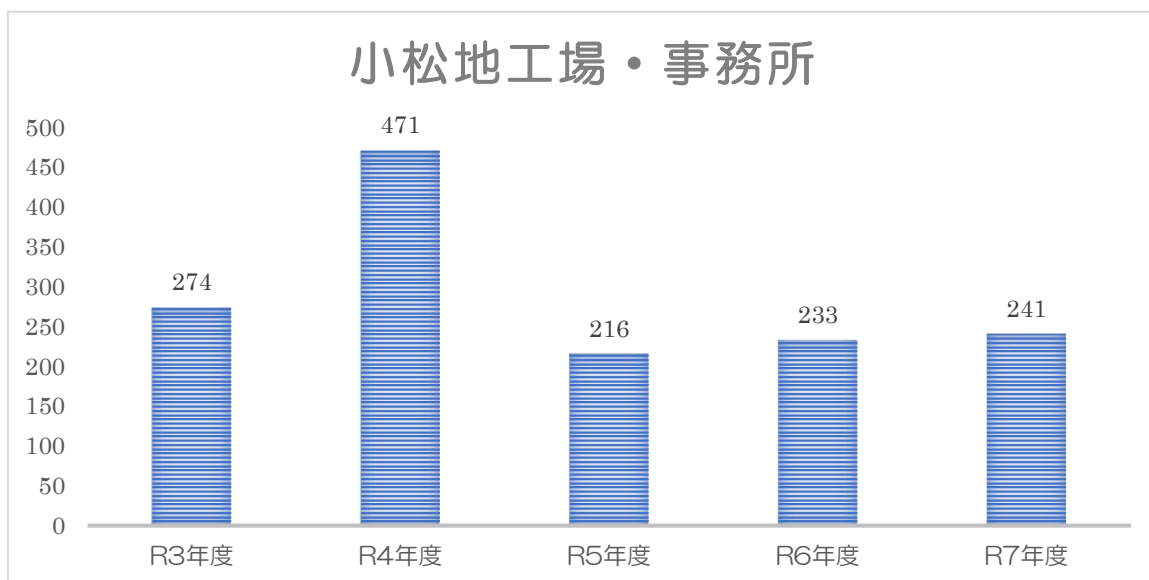


本社事務所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
電力使用量(kwh)	9,176	9,755	8,549	8,749	8,523



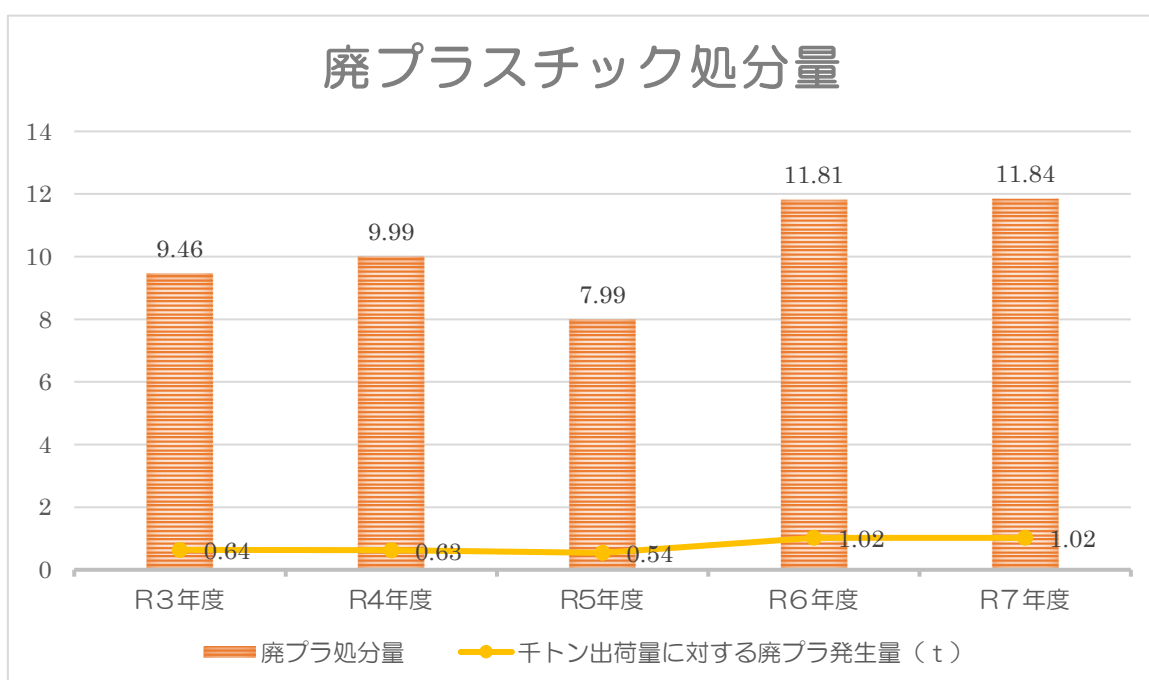
【水使用量】

小松地工場・事務所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
水使用量/m <sup>3</sup>	274	471	216	233	241



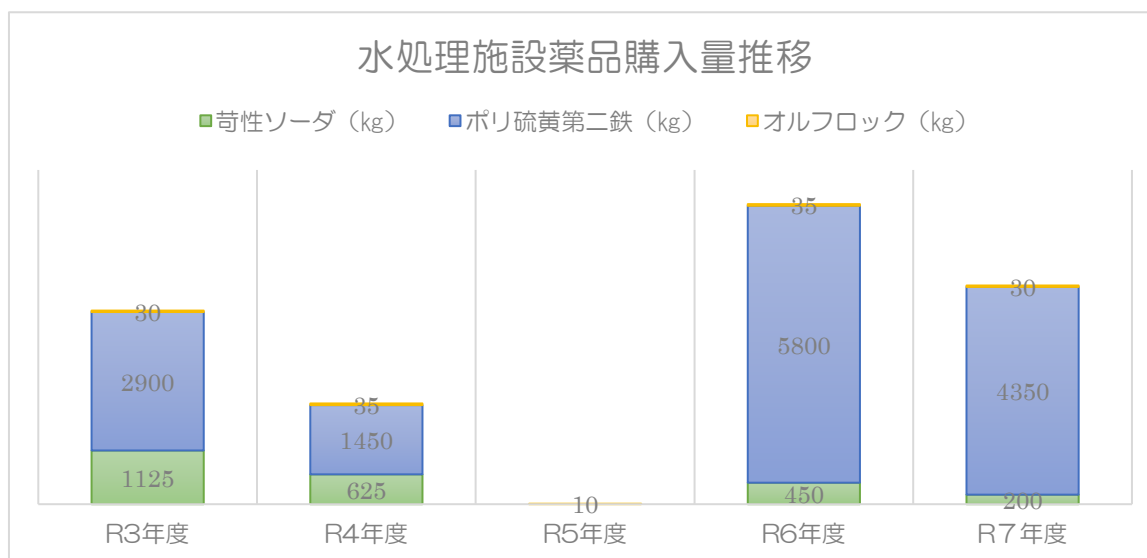
【廃プラスチック処分】

小松地工場	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
廃プラ処分量/トン	9.46	9.99	7.99	11.81	11.84
千トン出荷量に対する 廃プラ発生量/トン	0.64	0.63	0.54	1.02	1.02



### 【水処理施設薬品購入量推移】

小松地工場	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7年度
苛性ソーダ(kg)	1, 125	625	0	450	200
ポリ硫黄第二鉄(kg)	2, 900	1, 450	0	5, 800	4, 350
オルフロク(kg)	30	35	10	35	30



### ⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

#### (1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

下記に示した主な法令について遵守されている事を確認しました。

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正管理、適正排出に関する法令順守	適正処理
浄化層法	浄化槽の適正管理 10条:清掃(年1回) 11条:法定点検	遵守
資源有効利用促進法	パソコン廃棄時の規定順守	適正処理
家電リサイクル法	家電製品廃棄時の規定順守	適正処理
自動車リサイクル法	自動車廃棄時の規定順守	適正処理
消防法	指定可燃物等の届出	遵守
フロン排出抑制法	外観目視検査	遵守

#### (2)違反、訴訟等の有無

過去3年間、関係当局からの環境関連法規等の違反の指摘はありません。

#### (3)外部からの環境に関する苦情や要望について

外部からの指摘、苦情、要望等はありませんでした。

2025年9月30日  
環境管理責任者 吉田 俊哉

## ◎沿革・認定・許可・表彰

\*沿革\*

1977年4月	本社:邑智郡邑智町浜原、工場:邑智郡邑智町粕淵へ設立 資本金 4,000 万円
1990年4月	三瓶堆肥化センターを 大田市三瓶町志学 1981-1 にて開設
1998年10月	樹木伐採・伐根リサイクルシステム確立
1999年6月	移動式破砕機導入(樹木リサイクラーHC2400AT)1号機
2000年7月	移動式破砕機導入(樹木リサイクラーHC2400AT)2号機
2000年9月	本社を邑智郡美郷町粕淵 688 番地に移転
2004年3月	自動袋詰機【小袋専用】導入
2004年8月	移動式破砕機導入(樹木リサイクラーHC2410)3号機
2008年8月	移動式破砕機導入(樹木リサイクラーHC2410)4号機
2009年9月	本社及び堆肥化工場を邑智郡美郷町小松地 320 番地に新設
2009年9月	工場新設に伴い、粕淵製造所、三瓶堆肥化センター、野間工場を閉鎖
2010年11月	移動式破砕機導入(樹木リサイクラーモバーク)5号機
2012年3月	バッテリー式フォークリフトを導入
2013年8月	小松地工場、駐車場造成工事完了
2013年8月	『三瓶桜の里づくり事業』参加
2013年8月	小松地工場、バイオマスヤード造成工事完了
2013年11月	本社会議室完成
2014年11月	木材チップパー機(ドップシュタット社製)を導入。デモを開催(来場人数 100 名)。
2015年1月	広島市災害廃棄物処理業務 JV に参加(~平成 28 年 3 月終了)。
2015年4月	バイオマス発電用燃料チップの本格供給開始
2016年1月	燃料用チップ製造設備の整備(敷地・建屋及び乾燥設備)
2017年1月	熊本地震災害復旧業務に参加
2017年1月	「伐採者と造林者の連携による伐採と再造林等のガイドライン」調印
2018年9月	「持続可能な森林経営確立パートナー協定」締結
2018年9月	低速一軸木材破砕機導入(DW3060K)6号機
2019年1月	東広島市豪雨災害廃棄物処理業務に携わる

2021年9月	グラップル付きトラック 2台導入
2022年3月	SK135SR—7(油圧ショベル)納車
2023年7月	SH200LC—7型(油圧ショベル)納車
2024年3月	コンテナ車納車
2024年11月	一軸高速回転破碎機導入(AK565K)7号機

\*認定・許可\*

1999年11月	島根県産業廃棄物収集運搬業許可
2000年1月	島根県産業廃棄物処分業許可
2001年1月	島根県木材業者登録
2005年4月	しまねグリーン製品に認定(サンコーエコ堆肥・サンコーエコソイル)
2005年9月	広島県産業廃棄物収集運搬業許可
2008年4月	しまねストップ温暖化宣言事業者登録
2008年8月	一般廃棄物施設許可取得
2010年8月	エコアクション21認証・登録完了
2013年11月	優良産廃処理業者認定(島根県:収集運搬業、処分業)
2015年3月	優良産廃処理業者認定(鳥取県:収集運搬業)
2016年3月	優良産廃処理業者認定(広島県:収集運搬業)
2016年4月	山口県産業廃棄物収集運搬業許可取得
2017年3月	島根県ヘルス・マネジメント事業所認定
2020年9月	健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定
2020年9月	こころカンパニー認定、女性活躍応援企業登録
2021年3月	健康経営優良法人 2021(中小規模法人部門)認定
2021年11月	島根県産業廃棄物収集運搬許可品目を20品目へ拡大 優良産廃処理業者認定(山口県:収集運搬業)
2022年3月	健康経営優良法人 2022(中小規模法人部門)認定
2023年3月	健康経営優良法人「中小規模法人部門」5回目の認定
2023年5月	島根県ヘルス・マネジメント認定事業所認定

2024年3月	健康経営優良法人 2024(中小規模法人部門)認定
2025年3月	健康経営優良法人 2025(中小規模法人部門)設定

\*受賞・認定\*

2008年	「しまね地球温暖化防止活動大賞 事業者部門 優秀賞」受賞
2010年	エコアクション 21 認証・登録完了
2012年	「しまね地球温暖化防止活動大賞 事業者部門 優秀賞」受賞
2012年	島根の農林水産業・農山漁村の持続的な発展に向けて取り組む「頑張っているリーダー表彰」受賞
2012年	全産廃連青年部企画・CSR2 プロジェクト「びりり部門」全国青年部協議会会長受賞
2012年	「しまね地球温暖化防止活動大賞事業部門 優秀賞」受賞
2013年	「しまね地球温暖化防止活動大賞事業者部門 優秀賞」受賞
2014年	「しまね地球温暖化防止活動大賞事業者部門 大賞」受賞
2017年	島根県産業廃棄物協会 産業廃棄物適正処理推進表彰
2017年	島根県ヘルスマネジメント事業所 認定
2020年	エコアクション 21 10年継続による感謝状授与
2020年	安全運転管理業務推進事業所 表彰
2021年	優秀安全運転事業所表彰 銀賞受賞
2022年	島根県交通安全功労者等表彰 「優良事業所」受賞
2023年	「健康長寿しまね推進会議会長賞～職域部門」受賞
2025年	感謝状「地域の環境保全に貢献」 大代まちづくりセンター様より

⑩環境保全に関するその他の取組・教育

2月1日  
「冬の一日講習会」

～午前の部～ 各部署での勉強会



午前中は各部署ごとに分かれてそれぞれ勉強会をしました。

- ・” 山林課 ” 伐採作業のKYと重機のメンテナンス勉強会
- ・” 小松地工場（梱包班） ” 毎日使っているフォークリフトのメンテナンス勉強会
- ・” 小松地工場（破碎班） ” 重機のメンテナンスと新しい破碎機の使い方、安全作業の勉強会
- ・” 事務所（営業課） ” 「培養土」についての勉強会
- ・” 事務所（総務課） ” 電子マニフェストについての勉強会

～午後の部①～ 安全運転講習会

川本警察署さんによる交通安全講習会を行いました。社員全員で署名した「飲酒運転撲滅宣言書」「エコドライブ宣言書」を渡しました。



～午後の部②～  
美郷町のいいところ講演会

美郷町観光協会さんによる講演をしていただきました。美郷町の名所案内や温泉、名物紹介、美郷町の木や桜の紹介などしていただきました。美郷町には樹齢500年の「エドヒガンザクラ」、同じく樹齢500年のかつらの木「オロチカツラ」、樹齢120年の枝垂れ桜「前川桜」などいずれも県指定天然記念物になっており貴重な木ということで地元の人たちに大切に守られているそうです。他にも昔”銀”を運んでいた「銀山街道」で美郷町を通る”やなしお道ウォーキング”などの紹介もありました。身近な環境を見つめ直す良いきっかけになったと思います。



## 高圧電力の供給会社を変更

『電力の運用改善を目指して～小さな事からSDGs～』

令和7年4月から小松寺工場の高圧電力の供給会社を**日本テクノ株式会社**さんに変更します。

変更の決め手は、電気の「見える化」と「リアルタイムでの状況把握」です。

小松地工場では、繁忙期には月、20,000kwh電力を使います。経費の削減や省エネの観点などから「少しでも改善できることがあれば」と考え変更することにしました。

電気の「見える化」と「リアルタイムでの状況把握」については、詳しく説明するのは控えますが、電力監視モニターとSMARTCLOCKによって何時でも表示され、確認することができるようになります。

ということで、本日 設備工事に来られ器具を取り付けられました。



この器具を使用して、少しでも経費削減と省エネができるように活用していきます。

## 4月5日 「稚鮎の放流事業」

”自然環境保全”を目的に毎年行っている「稚鮎の放流事業」を今年も4月5日に行いました。従業員のご家族さん達を含め27名が参加しました。

### 【美郷町久保の早水川】



天気も良く春の気候でした🌸



小さな子どもさんも一緒に参加してくれました(^\_^)



今年放流した稚鮎は約2,500尾  
川のそばまでバケツリレーで稚鮎を運びました。  
その後、小さなバケツなどで少しずつすくって川へ放流すると元気に泳いでいきました。

大きく育てて帰ってきて欲しいです！

その為に綺麗な川を保っていけるようにしたいと思いました。

5月31日  
「恵みの森事業」

～清掃活動～ 午前中

地域の一斉清掃に合わせて、社員のご家族さん達、関係会社の方々にも参加していただき清掃活動を行いました。

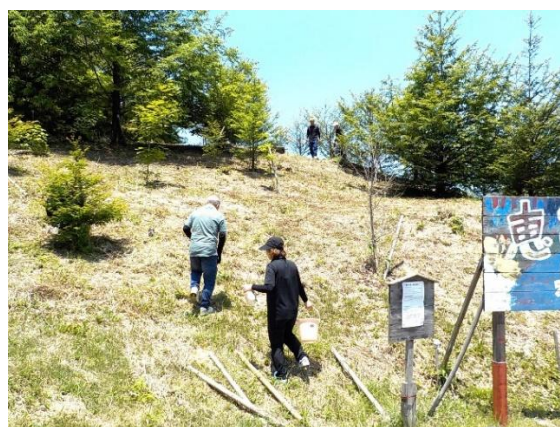


本社周辺の草刈りや側溝の清掃  
浜原ボード工場周辺の草刈り

県道 184 号（美郷大森線）  
国道 375 号（別府入口～大田市堺）  
の缶・ゴミ拾いをしました。

～恵みの森整備～ 午前中

毎年、本社横にある丘「恵みの森」に植樹した木の手入れを行っています。自分の植えた木に肥料と水やりをしました。



## 5月31日「恵みの森事業」～レクリエーション～

午後からはレクリエーションとして浜原体育館へ移動して「ドッジボール大会」  
その後に「バーベキュー」をしました。

### ドッジボール大会



4チーム（春、夏、秋、冬）に分かれてトーナメント方式でドッジボールをしました。運動の後はバーベキューです！



社員みんなで協力し合って盛りだくさんの一日でした！



### バーベキュー



6月15日  
「美郷町 産業際」

～第21回美郷町産業際～

今年も出店しました。「お買徳花苗」と産業際用の「お得な花と野菜の土」を販売しました。曇ったり晴れたりの天気でも暑かったですが、おかげさまで用意した商品はすべて完売でした。



隣では、「美郷町林業推進協議会」さんの体験コーナーがありました。



他にも地元のおいしいグルメの屋台や展示物のコーナーなどがありました。

## 「第21回 美郷町産業際」～駕籠かき大会～



今回は”アンパンマン”で勝負です!!

毎日遅くまで頑張って作成しました。

ドキドキの結果は  
仮装の部第2位の  
「美郷町長賞」で  
した!!



レースも  
しっかりと  
完走して  
ゴールしま  
した!



## 「グリーンカーテン事業」

今年もやります！ 5月13日  
”ゴーヤの”を植えました！  
自社の「混合用土」を使って



本社事務所の玄関横、応接質窓側、  
工場詰め所の窓側にゴーヤのプランター  
を設置しました。  
あとは、しっかり水やりをします！



2か月後“グリーンカーテン”  
が完成しました。



ゴーヤの実もたくさん収穫できました。  
社員で持帰っておいしくいただきます。  
ゴーヤにはビタミン C が豊富に含まれてい  
るので夏バテの防止になります。

## 「三瓶さくらの里づくり事業」

6月21日 桜の木の下草刈を実施しました桜の保育管理をしていくために、毎年行っています。



約 20ha（桜の木 6,200 本） 山林課、工場からの助っ人で合わせて5名で草刈りをしました。

## 9月6日（土） 「半日講習会」

午後より講習会を行いました

### 講習①【大田市の魅力発見講演】

大田市観光協会さんによる講演



大田市には2007年に世界遺産に登録された”石見銀山”や国立公園”三瓶山”、”物部神社”温泉津温泉””大あなご””石見神楽”など他にも観光地や名物の紹介があり、火山がもたらした恩恵がたくさんあるという事をお話していただきました。世界遺産の石見銀山は実はSDGsで事業を成長させながらも自然を守りながら地下に穴を掘る坑内採掘と言う手法だった。環境に配慮したサステナブルな点が大きく評価されたとう事でした。

### 講習②【お口の健康！歯ッピー講座】



講師は「平田歯科医院」の比良田院長先生に来ていただいて”歯周病の原因と影響についてお話していただきました。歯を失う原因のほとんどは歯周病だそうです。歯周病の怖さと予防方法について詳しく説明していただきました。歯周病からさまざまな病気につながったり、糖尿病悪化、認知症の悪化、ガンのリスク増大、など、関係があるという事でした。朝と夜、質の高いブラッシングをしたり生活習慣の改善でワンランク上のセカンドライフを目指しましょう！という事でした。

その後、「美郷町食生活改善推進協議会」の方による野菜の摂取量のお話や、「県央保健所・健康増進課」の方に野菜が足りているかの”ベジチェック”をしていただきました。



## 防災訓練の実施 9月6日(土)

半日講習会の後に毎年行っている、“消防避難訓練・通報訓練”を実施しました。



工場の梱包棟で火災が発生したという想定で、

実際に消防119へ通報し初期消化と避難訓練を行いました。毎年行っているので動きもスムーズでした。

どこに誰がいるかいつも把握しておくことが大事。

繰り返しやっている事が、いざという時に役に立つので、年に一回の訓練は続けてやっていきたい。



⑫代表者による全体の評価と見直し

■定期見直し（事業年度終了後）

見直し 関連情報	項 目		確認：コメント	
	1	エコアクション21 文書	<input checked="" type="checkbox"/>	「記録・文書」として作成しました
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
	3	環境経営計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	「記録・文書」に記載のとおりです
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	外部からの苦情はありませんでした
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	別途報告のとおりです
	7	実施体制・その他	<input checked="" type="checkbox"/>	掲示板の設置により周知徹底ができた

代表者による 全体評価・ 見直し指示	<p>長年、エコアクション 21 に取り組んでおり、特に見直すところはないが、常に新しいものや取り入れたいものを模索しながら取り組んでいる。</p> <p>年 2 回の講習会での機械メンテナンスや、車両機械燃費講習など行っており、社員の意識は高く保たれている。</p> <p>毎月の委員会にて、電気・燃料等の使用量、廃棄物の排出量などの数値発表により、使用量の見える化が出来ているので、お互いに指摘しやすい。</p> <p>また、電力供給先を変えたことで、使用電力がリアルタイムに把握することが出来て、消費削減にも大きく貢献している。</p> <p>今後は、低燃費車輛・機械への更新を行い、更なる削減努力をしていきたい。</p> <p>エコアクション実行委員会での意見交換が活発に行われているので、社員の意見も積極的に取り入れて、楽しみながらエコアクション 21 活動を行っていきたい。</p> <p style="text-align: right;">2025 年 12 月 29 日 山興緑化有限会社 代表取締役 河村 健司</p>			
		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	無	
	2	環境目標	無	
	3	環境活動計画	無	
	4	環境に関する組織	無	
	5	内部への対応	無	